

I 次の文章は、地形の形成要因に関するものである。これを読んで、以下の問1～問10に答えなさい。解答は、指示に従って、マークシートの所定の欄に記入しなさい。

地形の形成には、内的営力と外的営力が関わっている。大陸や海底に分布する大地形の形成には、内的営力である地殻変動が強く関与してきた。このうち、(1)大陸の大地形は、安定陸塊と造山帯に大別される。また、(2)海底には海嶺・海溝などのプレート境界が分布する。これに対して、陸地の大地形の中に見られる小地形や微地形の多くは、外的営力による侵食・運搬・堆積作用、ならびに風化作用で形作られたものである。これらの作用は多様であり、具体的には氷河、河川、地下水、波・沿岸流、風などによるものがある。このうち、氷河地形には、河川水的作用で形成された地形とは異なる特徴がある。一方、(3)河川地形のうち、河川の堆積作用によって形成される地形の代表的なものに扇状地がある。また、(4)海岸地形は、岩石海岸と砂浜海岸に分類され、それぞれに特徴的な地形が見られる。

地形の形成には、その場所の地質が深く関わっている場合がある。その例として、(5)石灰岩地帯に見られるカルスト地形をあげることができる。

また、地形の形成には気候条件が強く関わる場合があり、気候帯によって特徴的な地形が形成される。氷河地形は寒帯を特徴づける地形であり、(6)サンゴ礁は熱帯～亜熱帯特有の地形といえる。一方、気温の特徴だけでなく、降水量の特徴が地形に反映されることもあり、乾燥地域における砂漠の地形が、その代表例である。

問1 下線(1)に関連して、安定陸塊に属する場所を以下の中から1つ選び、その番号を解答欄 **(1)** にマークしなさい。

- |           |            |            |
|-----------|------------|------------|
| 1. コロラド高原 | 2. コロンビア高原 | 3. チベット高原  |
| 4. メキシコ高原 | 5. モンゴル高原  | 6. ラブラドル高原 |

問2 下線(2)に関連して、海嶺の一部が海面上に出てつくられた場所を以下の中から1つ選び、その番号を解答欄 **(2)** にマークしなさい。

- |           |             |         |
|-----------|-------------|---------|
| 1. アイスランド | 2. アイルランド   | 3. サハリン |
| 4. スマトラ   | 5. ニュージーランド | 6. ハワイ  |

問3 下線(3)に関連して、氷河地形のうち、堆積地形に分類されるものを以下の中から1つ選び、その番号を解答欄 **(3)** にマークしなさい。

- |             |          |         |
|-------------|----------|---------|
| 1. カール      | 2. フィヨルド | 3. 氷河湖  |
| 4. ホルン（ホーン） | 5. U字谷   | 6. モレーン |

問4 下線(3)に関連して、氷河地形によって過去の氷河分布を復元することができるが、最終氷期（現在に最も近い氷期）において大陸氷河が分布していたことが明らかになっている地域は、南極大陸、グリーンランドのほかに、どこがあるか。以下の中から適切なものを2つ選び、その番号を解答欄(4)と(5)にマークしなさい。（順不同）

- |               |             |           |
|---------------|-------------|-----------|
| 1. ヨーロッパ北部    | 2. ヨーロッパ南部  | 3. アジア東部  |
| 4. 北アメリカ北部    | 5. 南アメリカ中央部 | 6. アフリカ東部 |
| 7. オーストラリア中央部 |             |           |

問5 下線(4)に関連して、扇状地の特徴についての記述として適切でないものを以下の中から1つ選び、その番号を解答欄(6)にマークしなさい。

1. 扇状地は、山地から平野に移り変わる場所など、土地の傾斜が緩くなる所から下流側に形成される。
2. 扇状地を流れる河川は、流路が網目状になることが多い。
3. 扇状地では、土砂の堆積が盛んであることから、堤防が築かれている場合には河川は天井川になる可能性がある。
4. 扇状地の中央部（扇央）は、河川から十分な水を確保できるため、水田に適している。
5. 扇状地は、内陸ばかりではなく、海岸部に形成されることもある。

問6 下線(5)に関連して、岩石海岸に見られる侵食地形で、潮間帯（満潮時には水没し、干潮時には陸化する範囲）付近に形成される平坦な地形を何と呼ぶか。以下の中から最も適切なものを1つ選び、その番号を解答欄(7)にマークしなさい。

- |        |         |        |
|--------|---------|--------|
| 1. 溺れ谷 | 2. 海岸段丘 | 3. 海食崖 |
| 4. 海食洞 | 5. 海跡湖  | 6. 波食棚 |

問7 下線(5)に関連して、砂浜海岸に見られる堆積地形で、細長くのびる地形の片方だけが陸地につき、もう一方は波の影響などで先端が曲がったり、いくつかに分岐したりするものを何と呼ぶか。以下の中から最も適切なものを1つ選び、その番号を解答欄(8)にマークしなさい。

- |       |       |         |
|-------|-------|---------|
| 1. 砂丘 | 2. 砂嘴 | 3. トンボロ |
| 4. 干潟 | 5. 浜堤 | 6. ラグーン |

問8 下線(6)に関連して、カルスト地形の成因に関する記述として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、その番号を解答欄 (9) にマークしなさい。

1. カルスト地形は、河川が石灰岩を侵食することによって形成される。
2. カルスト地形は、地表に露出した石灰岩が風による侵食を受けて形成される。
3. カルスト地形は、雨や地下水が石灰岩を溶かすことによって形成される。
4. カルスト地形は、波が石灰岩を侵食することによって形成される。
5. カルスト地形は、地震によって石灰岩地帯が崩壊して形成される。

問9 下線(6)に関連して、カルスト地形と直接は関係のないものを以下の中から1つ選び、その番号を解答欄 (10) にマークしなさい。

- |         |             |        |
|---------|-------------|--------|
| 1. ウバーレ | 2. 岩塔 (カレン) | 3. 鍾乳洞 |
| 4. ドリーネ | 5. ビュート     | 6. ポリエ |

問10 下線(7)に関連して、サンゴ礁に関する記述として適切でないものを以下の中から2つ選び、その番号を解答欄 (11) と (12) にマークしなさい。(順不同)

1. サンゴ礁は、石灰質の骨格を作る動物によって形成された地形である。
2. サンゴ礁の上には、マングローブ林が広がる傾向が見られる。
3. 現在の日本列島では、南西諸島を中心にサンゴ礁が分布している。
4. サンゴ礁は、河川の河口周辺に広く分布する傾向が見られる。
5. サンゴ礁の形態で、大陸や島などの陸地に接した形で発達するものを裾礁と呼ぶ。
6. 地球温暖化に伴う海面上昇によって、サンゴ礁の島の一部が水没する恐れがある。
7. 海水温が高くなりすぎると、サンゴ礁が白化して死滅する場合がある。

Ⅱ 次の文章は、ロンドンを中心とする都市の発展と都市計画に関するものである。この文章を読んで、以下の問11～問22に答えなさい。解答は、指示に従って、マークシート上の所定の欄に記入しなさい。

ロンドンの都市圏は比較的平坦な土地に広がっており、その中心部を、テムズ川が流れている。ロンドンはヨーロッパにおいても有数の歴史ある都市であり、18世紀から20世紀にかけての産業革命期に急速な発展を遂げた。ロンドンの中心部に位置する（ア）と呼ばれる地区は、国際的な金融街として発展し、東部や南部には大きな工業地帯が形成された。またロンドン港は世界有数の港湾となった。

工業化にともなって地方から労働者が集まり、市街地は周辺部へと拡大していったが、それと同時に、交通渋滞、スモッグの発生、住宅の老朽化、スラムの形成などの生活環境の悪化も進むこととなった。そのような都市問題に対応するため、1898年に市街地の過密や環境悪化を緩和することをねらいとする田園都市構想が、イギリス人ハワードによって提唱された。この考えが1944年の大ロンドン計画に反映され、その後のニュータウン計画につながっていった。

しかしながら、ニュータウンの建設はロンドンの人口構成や産業に負の影響をもたらし、1960年代にはそれに関連して多くの社会問題も発生した。そのような問題を解決するため、政府は都市再開発計画を実施することとなるが、なかでも（イ）の再開発が代表的である。

ロンドンに限らず、近年の先進国の都市計画においては、経済的な発展だけでなく、環境やエネルギーの問題にも注目が集まり、それらを考慮した様々な案が検討され、実行に移されている。また我が国の都市においては、特に防災の観点から、ライフラインの確保や整備も重視されている。一方、第2次世界大戦後に植民地から独立した多くの発展途上国の都市では、人口規模第一位の都市が第二位以下の都市と人口数で大きな差を示すことが多く、第一位の都市の巨大化が様々な都市問題を生んでいる。

問11 下線(1)に関連して、テムズ川に関する記述として最も適切なものを以下の中から1つ選び、解答欄(13)にその番号をマークしなさい。

1. イギリス南部を東から西へ流れ、大西洋に注ぐ川で、河口には典型的な三角州が形成されている。
2. イギリス南部を東から西へ流れ、大西洋に注ぐ川で、河口には典型的な三角江が形成されている。
3. イギリス南部を東から西へ流れ、北海に注ぐ川で、河口には典型的な三角州が形成されている。
4. イギリス南部を東から西へ流れ、北海に注ぐ川で、河口には典型的な三角江が形成されている。
5. イギリス南部を西から東へ流れ、大西洋に注ぐ川で、河口には典型的な三角州が形成されている。
6. イギリス南部を西から東へ流れ、大西洋に注ぐ川で、河口には典型的な三角江が形成されている。
7. イギリス南部を西から東へ流れ、北海に注ぐ川で、河口には典型的な三角州が形成されている。
8. イギリス南部を西から東へ流れ、北海に注ぐ川で、河口には典型的な三角江が形成されている。

問12 下線(1)に関連して、ロンドンを中心にテムズ川周辺地域は盆地となっているが、このロンドン盆地の形状の特徴を表わす記述として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、解答欄 (14) にその番号をマークしなさい。

1. パリ盆地と同様、ロンドン盆地も典型的なケスタである。
2. パリ盆地と同様、ロンドン盆地も典型的なビュートである。
3. パリ盆地と同様、ロンドン盆地も典型的なメサである。
4. パリ盆地と異なり、ロンドン盆地は典型的なケスタである。
5. パリ盆地と異なり、ロンドン盆地は典型的なビュートである。
6. パリ盆地と異なり、ロンドン盆地は典型的なメサである。

問13 下線(1)に関連して、テムズ川が市内を流れるイギリスの都市の名称として正しいものを以下の中から1つ選び、解答欄 (15) にその番号をマークしなさい。

- |            |           |            |
|------------|-----------|------------|
| 1. オクスフォード | 2. ケンブリッジ | 3. シェフィールド |
| 4. バーミンガム  | 5. ブライトン  | 6. ポーツマス   |

問14 (ア)にあてはまる地区の固有名称として最も適切なものを以下の中から1つ選び、解答欄 (16) にその番号をマークしなさい。

- |              |          |           |
|--------------|----------|-----------|
| 1. ウォールストリート | 2. シティ   | 3. ソーホー   |
| 4. ケンジントン    | 5. チェルシー | 6. パディントン |

問15 下線(2)に関連して、この計画の特徴を表わす記述として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、解答欄 (17) にその番号をマークしなさい。

1. グリーンベルトの内側にニュータウンを建設し、ニュータウンでは職住の近接をめざした。
2. グリーンベルトの外側にニュータウンを建設し、ニュータウンでは職住の近接をめざした。
3. グリーンベルトの内側にニュータウンを建設し、ニュータウンでは職住の隔離をめざした。
4. グリーンベルトの外側にニュータウンを建設し、ニュータウンでは職住の隔離をめざした。

問16 下線(3)に関連して、ロンドン郊外に開発されたニュータウンとは異なるものを、以下の地名の中から1つ選び、解答欄 (18) にその番号をマークしなさい。

- |          |             |             |
|----------|-------------|-------------|
| 1. エヴリー  | 2. クローリー    | 3. スティーヴニッジ |
| 4. バジルドン | 5. ハットフィールド | 6. ブラックネル   |

問17 下線(4)に関連して、1960年代のロンドンの都市問題に関する記述として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、解答欄 (19) にその番号をマークしなさい。

1. 郊外にホワイトカラーや熟練労働者が流出し、インナーシティには高齢者や所得の低い人々、移民などが残された。
2. 郊外に高齢者や所得の低い人々、移民が追いやられ、インナーシティにはホワイトカラーや熟練労働者が残った。
3. 郊外に商業やサービス業従事者が流出し、インナーシティには工業従事者が残され、職業の種類によって居住地が明確に分離した。
4. 郊外に工業従事者が流出し、インナーシティには商業やサービス業従事者が残され、職業の種類によって居住地が明確に分離した。
5. 職業や年齢、所得や人種に関わらず、全般的に人口が郊外に流出し、インナーシティはゴースタウン化した。
6. ニュータウン建設の失敗のため、相対的にインナーシティの魅力が向上し、ロンドン市外や郊外からインナーシティへの人口の集中と過密化が起こった。

問18 (イ)には1980年代から本格的に始まったロンドンの代表的な都市再開発の地域があてはまるが、その地域の名称として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、解答欄 (20) にその番号をマークしなさい。

- |             |                |             |
|-------------|----------------|-------------|
| 1. インナーハーバー | 2. キングスドック     | 3. ドックランズ   |
| 4. ハーバーフロント | 5. バッテリーパークシティ | 6. フォスターシティ |
| 7. リバーウォーク  |                |             |

問19 (イ)に関連して、この再開発地区の特徴に関する記述として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、解答欄 (21) にその番号をマークしなさい。

1. (ア)の東に位置し、産業施設の跡地に新たなオフィスが集中的に建設され、業務に特化した地域が形成された。
2. (ア)の東に位置し、産業施設の跡地に新たな住宅が集中的に建設され、住宅に特化した地域が形成された。
3. (ア)の東に位置し、産業施設の跡地に新たなオフィス、住宅、商業施設が建設され、それらの複合地域が形成された。
4. (ア)の西に位置し、産業施設の跡地に新たなオフィスが集中的に建設され、業務に特化した地域が形成された。
5. (ア)の西に位置し、産業施設の跡地に新たな住宅が集中的に建設され、住宅に特化した地域が形成された。
6. (ア)の西に位置し、産業施設の跡地に新たなオフィス、住宅、商業施設が建設され、それらの複合地域が形成された。

問20 ロンドン以外のヨーロッパの都市開発として、第2次世界大戦後にフランスのパリにおいてラ・デファンス地区やマレ地区の大規模な再開発事業が行われている。これら2つのパリの再開発の一般的な特徴を表わす記述として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、解答欄 (22) にその番号をマークしなさい。

1. マレ地区もラ・デファンス地区も、それぞれ古い施設を取り壊して一掃し、その跡地に新たな都市機能を建設した。
2. マレ地区では古い施設を取り壊して一掃し、その跡地に新たな都市機能を建設したが、ラ・デファンス地区では古い建造物を修復・保全しつつ再開発を進めた。
3. マレ地区では古い建造物を修復・保全しつつ再開発を進めたが、ラ・デファンス地区では古い施設を取り壊して一掃し、その跡地に新たな都市機能を建設した。
4. マレ地区もラ・デファンス地区も、それぞれ古い建造物を修復・保全しつつ再開発を進めた。

問21 下線(5)に関連して、ヨーロッパの一部の都市ではパークアンドライドと呼ばれる交通方式が導入されているが、それには排気ガスによる大気汚染の軽減、二酸化炭素排出量の削減といった副次的効果も期待されている。この方式の主たるねらいを表わす記述として最も適切なものを、以下の中から1つ選び、解答欄 (23) にその番号をマークしなさい。

1. この方式は、都市内に緑道のネットワークを整備し、その中を自転車で走りながら都市内を回遊させることをねらうものである。
2. この方式は、都市内に緑道のネットワークと、それに並行した鉄道や路線バス等の公共交通ルートを整備によって、環境と景観の保全をめざすものである。
3. この方式は、都市内に公園や緑地をできるだけ多く残すとともに、自転車専用レーンを整備することで、緑地保全と自動車の利用を減らすことをねらいとしている。
4. この方式は、都市内に公園や緑地をできるだけ多く残すとともに、鉄道や路線バス等の公共交通の利用を促進することによって、環境保全をめざすものである。
5. この方式は、都市中心部へ入る前に車を駐車させ、そこから鉄道や路線バスなどの公共交通によって都心部へ移動させることで、交通混雑の緩和をねらうものである。
6. この方式は、都市中心部へ入る前に車を駐車させ、そこからタクシーを利用して都心部へ移動させることで、都心部で道に迷うことをふせぐねらいがある。

問22 下線(6)に関連して、発展途上国の首都などによく見られる、人口規模第2位以下の都市よりもはるかに大きな第1位の人口規模を持つ都市を何と呼ぶか。以下の語群の中から最も適切なものを1つ選び、解答欄 (24) にその番号をマークしなさい。

- |              |           |             |
|--------------|-----------|-------------|
| 1. エコシティ     | 2. エッジシティ | 3. グローバルシティ |
| 4. プライメートシティ | 5. メガシティ  | 6. ワールドシティ  |

Ⅲ 次の文章は、ユーラシア大陸中央部の国々や諸地域についてのものである。これを読んで、以下の問23～問29に答えなさい。解答は、指示に従って、マークシートの所定の欄に記入しなさい。

ユーラシア大陸中央部地域は、東西文明の交流の十字路にあたるとともに、西アジア諸文明の影響を強く受けた定住民族と広大な草原地域の遊牧騎馬民族との間の抗争や交流によって、独自の地理的特徴を持つ地域となってきた。

この地域の自然環境は、険しい山岳地形や、砂漠地形からなる苛酷な環境が卓越しているが、こうした環境に適応したさまざまな民族がそれぞれの文化を展開してきた。自然環境のうち地形についてみると、地体構造は、<sup>(1)</sup>この地域の中央部には古期造山帯が広がり、その南側には新期造山帯が展開し、地域の北東方向には安定陸塊が位置している。気候は概ね乾燥気候で、乾燥地域の<sup>(2)</sup>オアシスを結ぶ東西交易路（いわゆるシルクロード）や、北の草原地帯を抜ける東西に横断する草原の道が古くから開かれ、隊商の長い列が往来し、時として騎馬兵の軍団が跳梁してきた。

現在、この地域の中央部には、<sup>(3)</sup>中央アジア諸国 5 カ国が独立して存在しているが、現在の中央アジア 5 カ国の国境線は、ロシア革命以降のソヴィエト連邦の支配の下で画定され、1990年代のソヴィエト連邦の崩壊後も継続されてきたもので、極めて最近のものであって必ずしも「民族自決」の原則に基づくものとはいえない。これらの諸国においては、現在でも<sup>(4)</sup>言語や宗教の分布状況やそれらの間の相互関係には極めて複雑なものがあり、それ自体がこの地域の長く、複雑な歴史を物語っている。こうした歴史的地理的な背景が存在しているために、この地域の理解には、国別の実態を知ることとともに、地域全体をひとつのまとまりのあるものとして理解することが重要である。

問23 下線(1)に関連して、古期造山帯の山脈が新期造山帯の造山運動の影響を受けて、隆起した山脈を「復活山脈」と呼ぶが、復活山脈に該当するものはどれか。以下の山脈名の中から最も適切なものを1つ選び、解答欄(25)にその番号をマークしなさい。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. アラカン山脈 | 2. カフカス山脈 | 3. クンルン山脈 |
| 4. ザグロス山脈 | 5. 東ガーツ山脈 |           |

問24 下線(1)に関連して、安定陸塊に関連する地形にはさまざまなものがあるが、安定陸塊とは関連しないものはどれか。以下の地形の中から最も適切なものを1つ選び、解答欄(26)にその番号をマークしなさい。

- |        |         |        |
|--------|---------|--------|
| 1. ケスタ | 2. 構造平野 | 3. 卓状地 |
| 4. 楯状地 | 5. 島弧   |        |

問25 下線(2)に関連して、シルクロードについて述べられた以下の文章の空欄 A～F に入る最も適切な語を、下記の語群の中から選び、A に該当するものについては解答欄(27)(28)に、B に該当するものについては解答欄(29)(30)に、C に該当するものについては解答欄(31)(32)に、D に該当するものについては解答欄(33)(34)に、E に該当するものについては解答欄(35)(36)に、F に該当するものについては解答欄(37)(38)に、それぞれの番号をマークしなさい。

中国の洛陽や長安を発して西に向かう交易路は、西域に入ると二つの大きな自然の障害を迂回しなければならなかった。

その一つは標高 5000～6000m にも及ぶ [A] であり、もう一つは、タリム盆地の大半を占める広大な [B] である。[A] を迂回する為にシルクロードは北側のルートと南側のルートに分岐されるが、その分岐点の一つに位置し、しかも北方からの草原の道との結節点ともなり、中華世界と遊牧世界の接点となっていたのが [C] である。

[A] を迂回する北側のルートは、山岳地帯の北辺を抜けてから南下し、遠くティムール帝国の都であったこともある、現在はユネスコの世界遺産にも登録されている都市 [D] の辺りで、南側のルートからのシルクロードと合流する。この南側のルートは [B] をその北側に迂回するルートでもある。もう一つの [B] を迂回するルートは、[B] の南縁をたどるルートであり、このルートは東方遙か遠く、敦煌からロプ湖方面を抜けて、砂漠地域に入り、タリム盆地とチベット高原の境をなす [E] の北側のオアシス都市をたどりながら西進し、[B] の西端部にある、ウイグル社会の中心都市の [F] で [B] を迂回する北縁ルートと合流する。

[F] から交易路は分岐し、西方の [D] へと赴くルートと、南下して険しい山岳地帯を通過して西進し、現在のアフガニスタンからイランを経てバグダッドに至るルートに分かれる。

一方、[D] からの西進ルートは、アムダリア川を渡河するあたりから南下し、イラン北部のオアシス都市マシュハド付近で、[F] からの南進ルートと合流してバグダッドに至る。バグダッドからは、ティグリス川に沿って北上し、現在のトルコとシリアの国境近くを通過して地中海海上交易の拠点アンティオキアに至り、海路ローマへと繋がっていた。

[語 群]

- |              |              |              |             |
|--------------|--------------|--------------|-------------|
| 01. アルタイ山脈   | 02. クンルン山脈   | 03. テンシャン山脈  | 04. パミール高原  |
| 05. ヒマラヤ山脈   | 06. ゴビ砂漠     | 07. タクラマカン砂漠 | 08. カラクーム砂漠 |
| 09. キジルクーム砂漠 | 10. ルプアルハリ砂漠 | 11. アスタナ     | 12. イスファハーン |
| 13. ウランバートル  | 14. カシュガル    | 15. カラコルム    | 16. カブール    |
| 17. サマルカンド   | 18. スリナガル    | 19. タブリーズ    | 20. テヘラン    |
| 21. トウルファン   | 22. ドウシャンベ   | 23. パオトウ     | 24. ユイメン    |
| 25. ランチョウ    |              |              |             |

問26 下線(3)に関連して、中央アジア5カ国についての以下の文章の空欄 G～J に入る最も適切な国名を、下記の語群の中から選び、G に該当するものについては解答欄 (39) に、H に該当するものについては解答欄 (40) に、I に該当するものについては解答欄 (41) に、J に該当するものについては解答欄 (42) に、それぞれの番号をマークしなさい。

中央アジア5カ国のうち [G] は、面積が最大で、北部では春小麦の栽培が盛んで、この地域有数の穀倉地帯を形成し、南部では綿花の栽培が盛んである。石炭、銅、マンガン、ボーキサイトなどの鉱物資源にも恵まれているが、近年、西部地方で大規模な油田が発見された。[H] は5カ国のうちで最も人口が多い国であり、乾燥地域が多く灌漑などによる綿花の栽培が盛んで、世界有数の綿花の生産と輸出国でもある。また、ソヴィエト連邦時代から中央アジア工業地域が形成され産業の中心となってきたが、近年は、石油・天然ガスの生産が著しい。

Ⅰ は、国土の大半が砂漠であるが、この砂漠地帯に運河を建設し灌漑農業によって綿花の栽培が盛んに行われている。特に、長繊維のエジプト綿の生産は良く知られている。近年は、外国資本による油田開発も進展して化学工業も発展している。Ⅱ は、国土の大半が山岳地域からなる国で、その東半部は、パミール高原によって占められている。国民の過半は農林牧畜業に従事し、国民一人当たりの所得も低い。中央アジア 5 カ国全体の中では少数派の語系の言語が、この国の過半数の人々によって使用されている。

[語 群]

- |            |             |                   |
|------------|-------------|-------------------|
| 1. ウズベキスタン | 2. カザフスタン   | 3. キルギス (クルグズスタン) |
| 4. タジキスタン  | 5. トルクメニスタン |                   |

問27 前問26の文中において言及されている「中央アジア工業地域」の中心都市はどこか。以下の都市名の中から正しいものを1つ選び、解答欄 (43) にその番号をマークしなさい。

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 1. アスタナ   | 2. カラガンダ | 3. タシケント |
| 4. バイコヌール | 5. プハラ   |          |

問28 下線(4)に関連して、中央アジア 5 カ国における言語についての記述として最も適切なものはどれか。以下の記述の中から1つ選び、解答欄 (44) にその番号をマークしなさい。

1. この地域においては、ウラル語系の言語を使用する人々が人口の過半を占める。
2. この地域においては、アルタイ語系の言語を使用する人々が人口の過半を占める。
3. この地域においては、イラン (ペルシャ) 語系のインド=ヨーロッパ語族の言語を使用する人々が人口の過半を占める。
4. この地域においては、アフロ=アジア (セム・ハム) 語族系のアラビア語を使用する人々が人口の過半を占める。

問29 下線(4)に関連して、中央アジア 5 カ国における宗教についての記述として最も適切なものはどれか。以下の記述の中から1つ選び、解答欄 (45) にその番号をマークしなさい。

1. ソヴィエト連邦の支配の影響もあって、ロシア正教徒が最大人口を占める。
2. ロシア正教徒とイスラム教徒が半々で、時として両者は対立し衝突することもある。
3. イスラム教徒が大半で、スンナ (スンニ) 派が多数派である。
4. イスラム教徒とラマ教徒が半々であるが、ラマ教徒の数は減少傾向にある。

Ⅳ 次の①から④の図は、現在、慶應義塾大学日吉キャンパスが立地している地域の地形図（一部改変）であり、4つの異なる時期に発行されたものである（① 明治42年、② 昭和28年、③ 昭和42年、④ 平成11年）。これらの地図について、以下の問30～問32に答えなさい。解答は、所定の解答欄に記入しなさい。

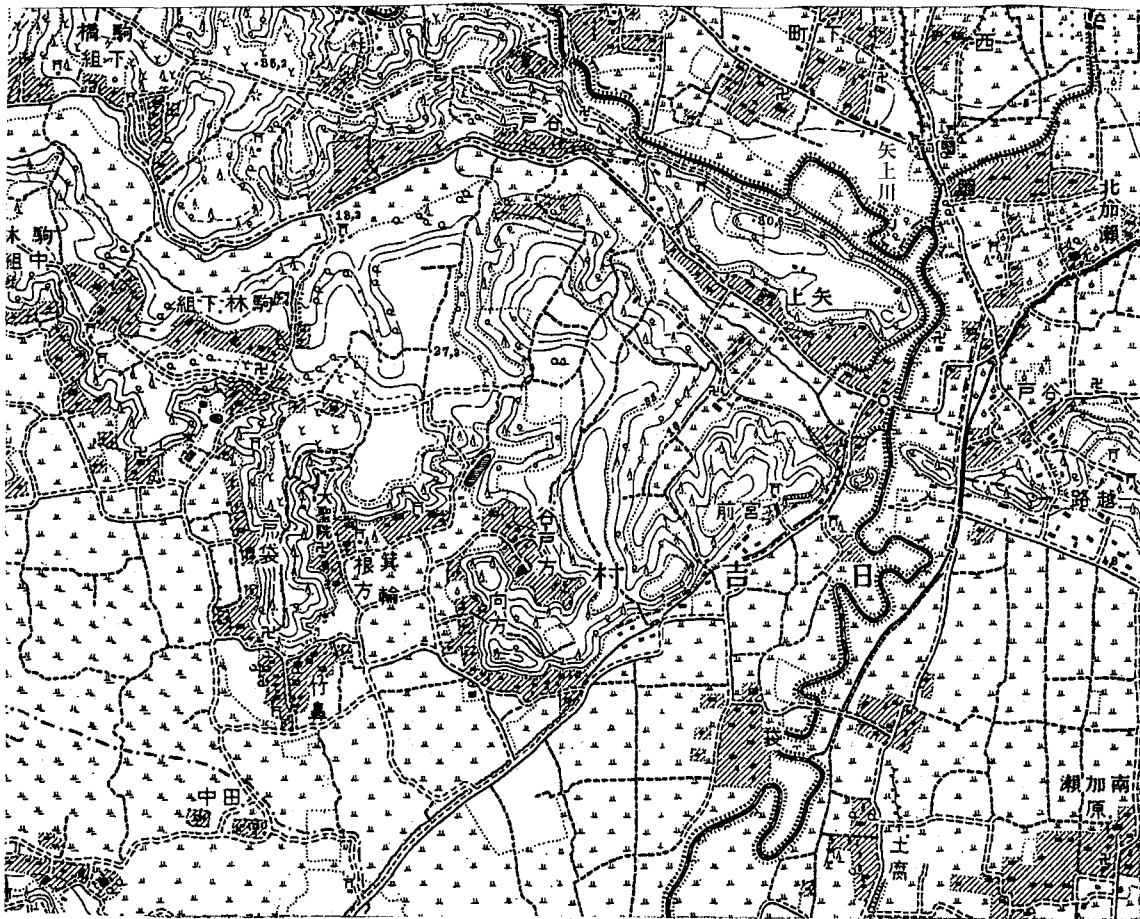
問30 日吉キャンパスは、どのような地形上に立地しているか。適切な地形の名称を、所定の解答欄に書きなさい。

問31 日吉キャンパスの北側および東側を流れる矢上川の流路には、どのような変化が見られるか。また、その変化は、どのような理由によるものと考えられるか。所定の解答欄に、合わせて75字以内で答えなさい。ただし数字の場合は、1つのマス目に2つまで入れることができる。

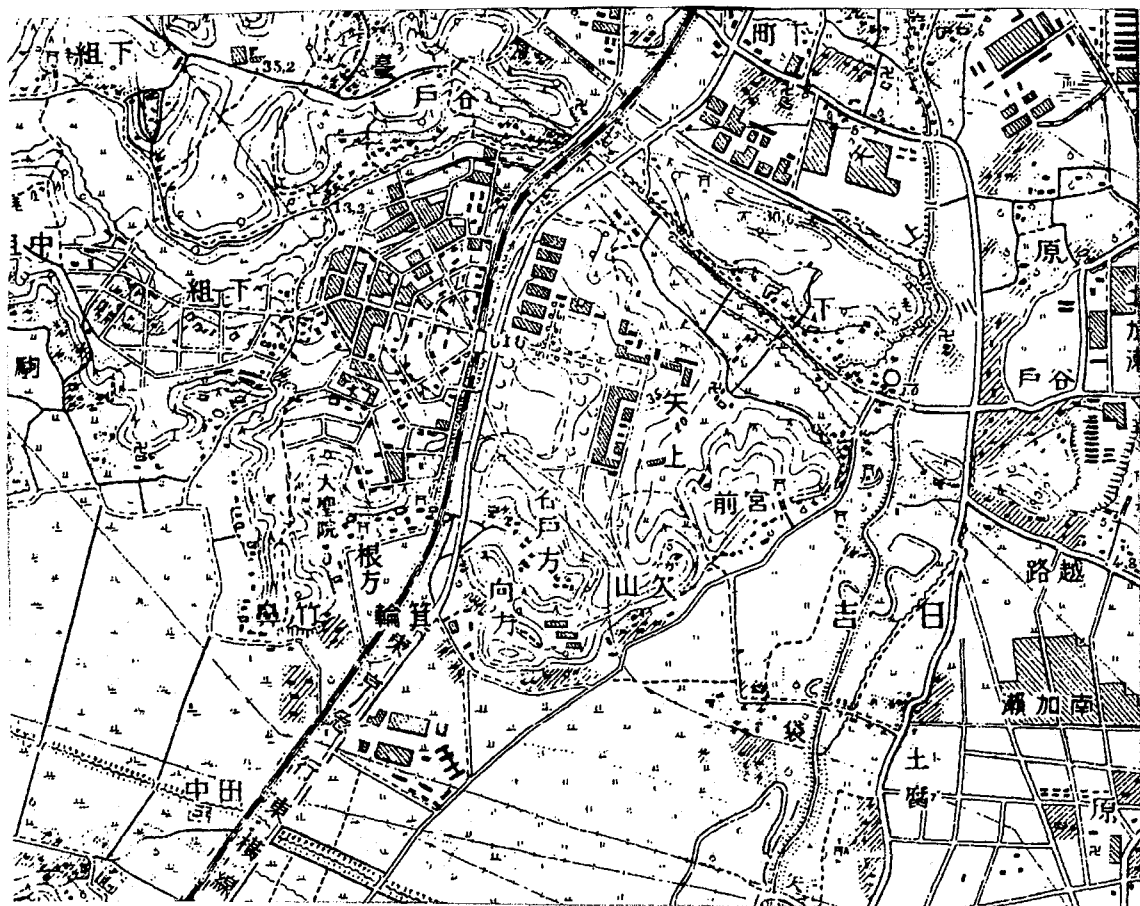
問32 ①から④までの4つの地図を比較して、この期間における日吉キャンパスおよびその周辺の土地利用変化の特徴を、所定の解答欄に150字以内で述べなさい。ただし数字の場合は、1つのマス目に2つまで入れることができる。

出典：① 1：20,000 「溝口」 明治42年 陸地測量部発行（×0.8）  
② 1：25,000 「川崎」 昭和28年 地理調査所発行（原寸）  
③ 1：25,000 「川崎」 昭和42年 国土地理院発行（原寸）  
④ 1：25,000 「川崎」 平成11年 国土地理院発行（原寸）

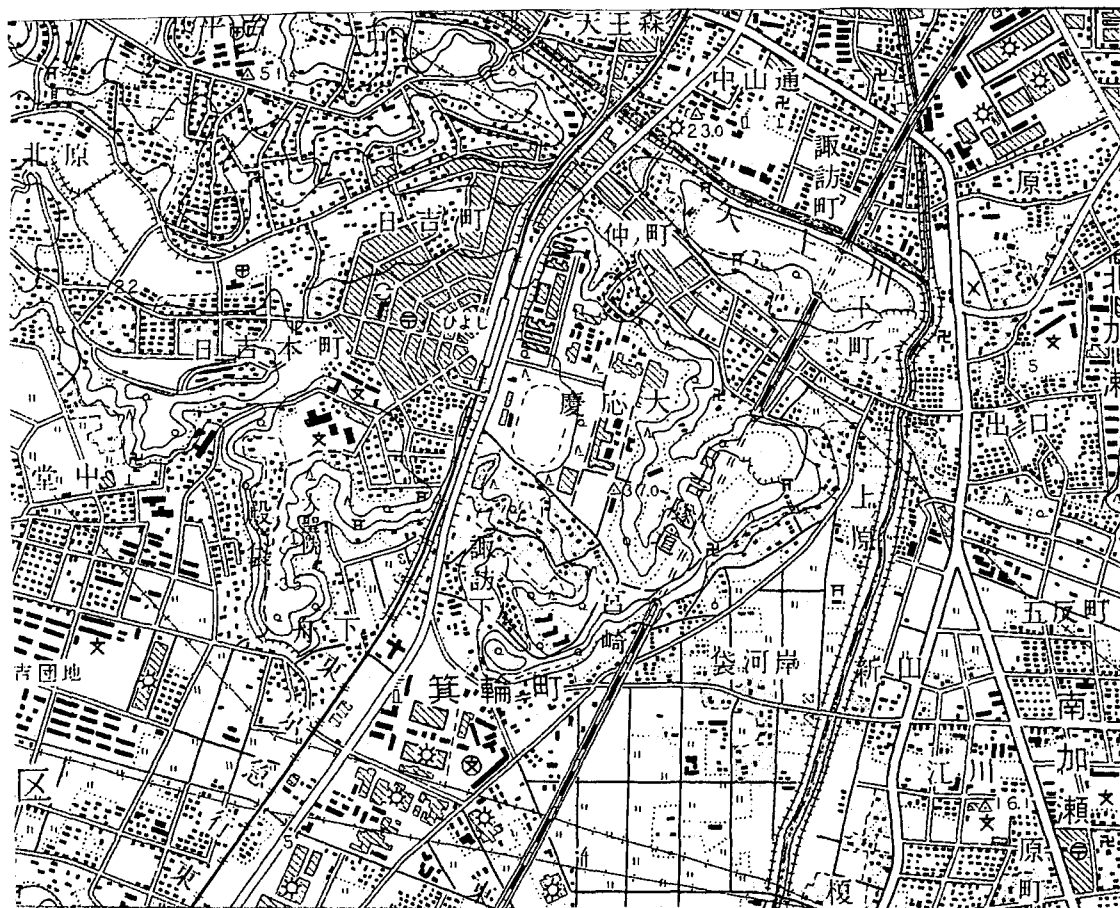
①



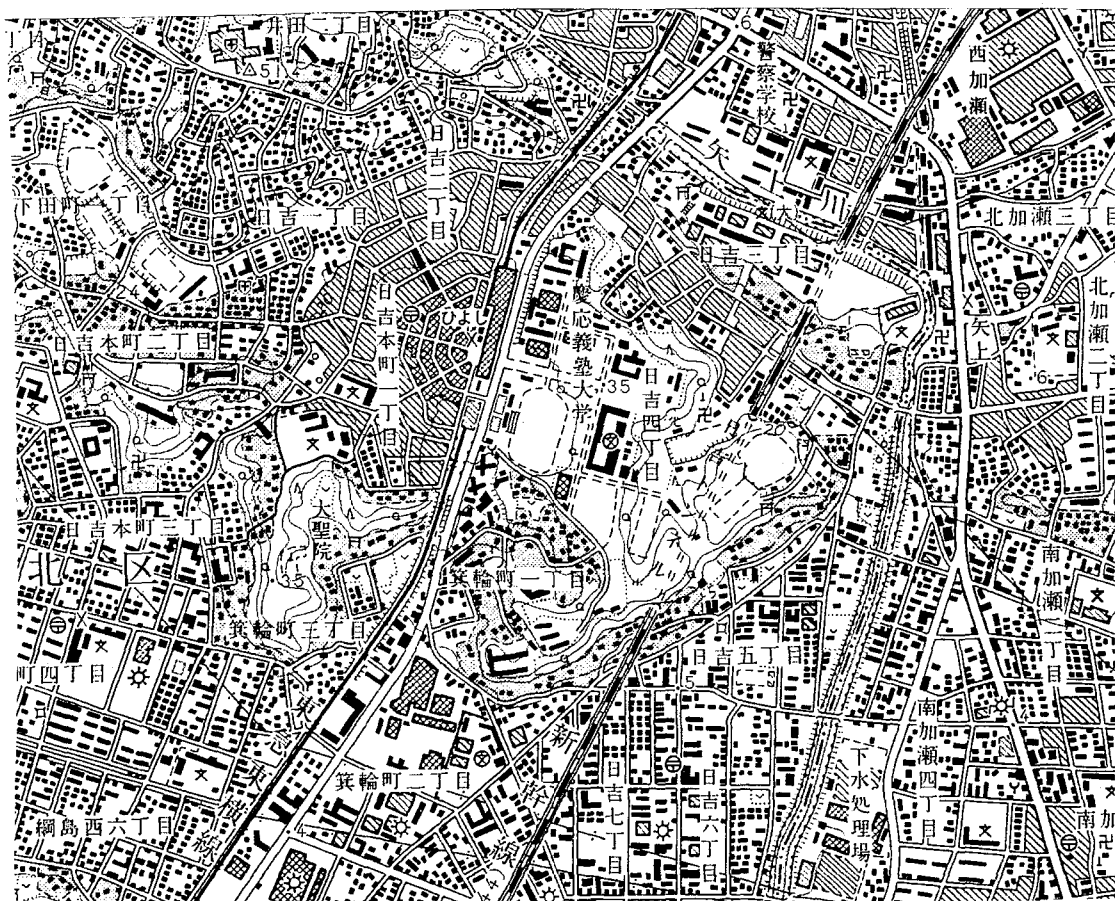
②



③



④



V 次の文章は、日本の農業についてのものである。これを読んで、以下の問33～問36に答えなさい。解答は、所定の解答欄に記入しなさい。

第2次世界大戦後、日本の農業は農地改革によって、それまでの地主制が廃止され、耕地整理や土地改良、更には機械化などによって土地生産性や労働生産性が向上した。そして、1950年代後半から始まる社会の大きな変化の中で、<sup>(1)</sup>日本の農業の進むべき基本的方向を示すものとして、1961年に「農業基本法」が制定された。

しかし、その後、日本の農業は米作中心の保護政策が続けられたこともあって、国際的競争力を失い、農産物貿易の自由化を求める内外の圧力にさらされてきた。現在、FTA 交渉などの包括的貿易自由化交渉において、農業部門の自由化の遅れが障害となり、交渉は思うように進展していない。<sup>(2)</sup>また、1999年には、これまでの農業政策全般の見直しの結果、新しい農業基本法が制定され、多面的機能をもつ農業の在り方について新たな挑戦と模索が開始された。<sup>(3)</sup><sup>(4)</sup>

問33 下線(1)にある、「1950年代後半から始まる社会の大きな変化」とは何か。そして、そのような変化が何故、農業の将来に影響を及ぼすものと考えられたのか。所定の解答欄に100字以内で説明しなさい。ただし数字の場合は、1つのマス目に2つまで入れることができる。

問34 下線(2)に関連して、FTA とは何の略称か。所定の解答欄に英語で表記しなさい。

問35 下線(3)にある、「新しい農業基本法」の正式名称とは何か。所定の解答欄に記入しなさい。また、この法律の中で重要課題として取り上げられている「中山間地域」の整備について、何故「中山間地域」と呼ばれるのか。所定の解答欄に75字以内で説明しなさい。ただし数字の場合は、1つのマス目に2つまで入れることができる。

問36 下線(4)にある「多面的機能」とは何か。農業がもっている多面的機能のうち、農産物の生産機能以外で、特に重要と見なされている機能を1つ挙げて、所定の解答欄に記入しなさい。

Ⅵ 次の文章は、都市の形成と通信ネットワークの発展に関する記述である。これを読んで、以下の問37～問39に答えなさい。解答は、所定の解答欄に記入しなさい。

都市ならびに通信ネットワークは、いずれも人間どうしの相互作用を活発にするために人類が生み出した機構と考えることができる。都市の形成は、人間の居住を空間的に集積させることで、人々の対面的交流を実現するための時間を短縮し、その機会を増やすことに成功した。<sup>(1)</sup>一方、通信ネットワークの発展は、今日のインターネットに代表されるように、遠隔の情報伝達の時間を縮めることによって、人々の交流の空間的な範囲を拡げている。<sup>(2)</sup>

問37 下線(1)に関連して、消費者がある商業店舗を訪れて商品を購入する行為も、売り手と買い手の取引の相互作用と考えることができる。一般に、各々の商業店舗は、そのような消費者との相互作用(店舗での売買)が成立する一定の空間的範囲を持つが、その範囲を表わす適切な用語を所定の解答欄に記入しなさい。

問38 下線(2)に関連して、大陸を越えた高速の情報伝達を可能とする手段としては、海洋を経由するものと宇宙を経由するものがある。それぞれの手段として主要なものの名称を、海洋を経由する手段については(ア)の解答欄に、宇宙を経由する手段については(イ)の解答欄に記入しなさい。

問39 この文章に書かれているように、人間どうしの相互作用は、都市と通信ネットワークの2つの機構の働きによって実現されていると考えられるが、今後の社会は、依然として両者の機構を必要とするのか。あるいは、どちらか一方の機構だけで充分なのか。自らの意見を、その理由とともに所定の解答欄に150字以内で述べなさい。ただし数字の場合は、1つのマス目に2つまで入れることができる。